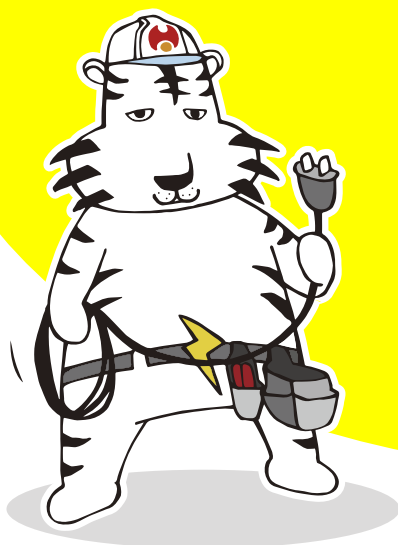


電気の専門家が

「知ってて助かる

電気の話」

を教えるぜ!



■焦って業者を呼ぶ前に…

これで安心!ブレーカーが落ちた時の対処マニュアル

P1

■そもそも計算してる?

猿でもわかる!コンセント容量の計算方法!

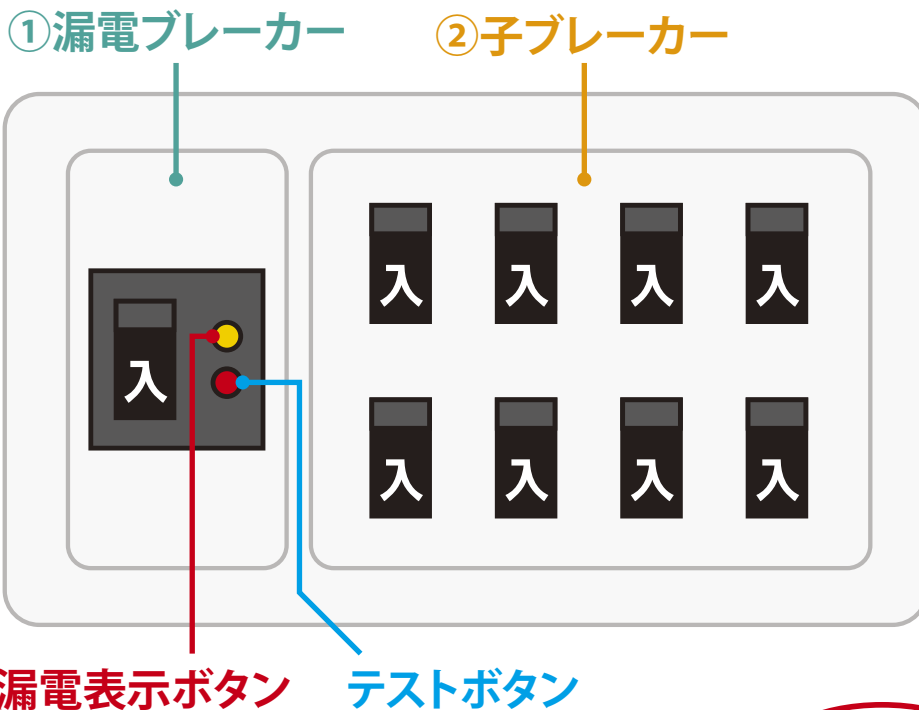
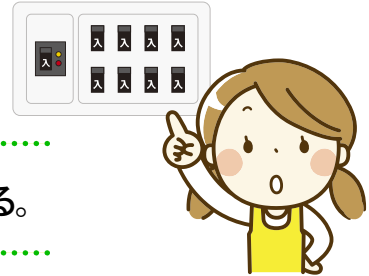
P2

そもそも…ブレーカーが落ちるのは、安全確保のためなのです!

ブレーカーが落ちた(OFFになった)時は、以下手順で**状況確認**を行い
漏電の可能性があるかどうかを、ご確認ください。

確認手順

- 1 ②子ブレーカーを全て下げて、OFFにする。
- 2 ①漏電ブレーカーを一番下まで下げて、OFFにする。
- 3 2で一番下まで下げた①漏電ブレーカーを、一番上まで上げてONにする。
- 4 1で下げた②の子ブレーカーを一つずつ上げて、ONにする。



当社に
連絡ください!

重要

ONにした②子ブレーカーが再びOFFに下がったら

その②子ブレーカーに記載している部屋で**漏電の可能性**があります。

該当する②子ブレーカーをONにしていると**危険**なので、下げてOFFにして下さい。

まだ①漏電ブレーカーがONにならない場合は、①～④の手順を再び行って下さい。

猿でもわかる!コンセント容量の計算方法!

なぜコンセントの容量を計算しなくてはいけないの?

正しく安全に電化製品を使用していただく為です。

そして、ブレーカーが落ちないようにする為です。

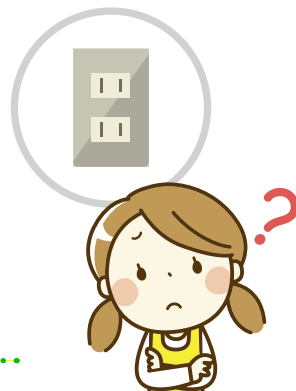
コンセントの容量を計算するには、まず電気の単位を理解しておく必要があります!電気の単位には、以下のようなものがあります。



アンペア **A** :電流の大きさ

ボルト **V** :電圧(電流を流す力)の大きさ

ワット **W** :消費される電気エネルギーの大きさ



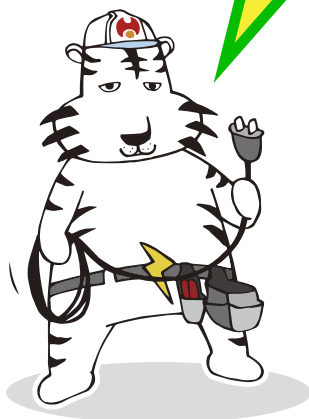
一般的なコンセントのアンペア(A)数は1つあたり15Aとなっているので、一般的な100Vのコンセントであれば、コンセント1つあたりの容量が1500Wとなります。コンセントは基本的に100Vのものが多いですが、200Vのものもあるので、まずは、どちらかを確認しましょう

コンセントを使用する際は、使用する電化製品がこの容量(100V・1500W※)を超えないように考えて使用しないといけません

※コンセントは基本的に100Vのものが多いですが、200Vのものもあるので、ご使用のコンセントがどちらかをご確認ください。

使用する電化製品などの消費電力を計算し、
コンセントの容量を超えていないか確認しましょう!

※WではなくAで記載されているものもあります。
その時は1A=100Wで計算しましょう。



容量内で収めていても、使用しているコンセントの他に別のコンセントも同じ配線につながっている場合があります…!!

⚠ 例えば、15Aの子ブレーカーに3つのコンセントの配線が
つながっているとします。その場合は3つのコンセントで
最大の使用量が合計1500Wの容量となります。

なので3つのコンセントをそれぞれ1200Wの機器を同時に使用した場合、
合計が1200W×3=3600Wとなるので、ブレーカーが落ちたりします。

電化製品の**取り扱い説明書**に消費電力が記載されています。

正しく知って、安全に使いましょ!

電気のことで
困ったときはすぐに
ご相談ください。

簡単!

便利!

速い!

オンライン相談・見積!

写真を撮影して LINE で送るだけ!



営業中なのに…困った…

電気のトラブルをスピード解決!

電気のレスキュー隊



0120-08-7830

電話受付時間
平日9:00~17:00

詳しくはこちら

電気のレスキュー隊

検索

